

FFTA12U

CCD スキャナ

ご利用の手引き

1.0e 版
(2014 年 4 月)

はじめに

このたびは CCD スキャナ FFTA12U をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書には、FFTA12U の外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて FFTA12U を使用する前に必ずお読みください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて FFTA12U を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

商標について

Microsoft® Windows®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。



日栄インテック株式会社 開発事業部 Auto-ID グループ
〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5 日栄インテック御徒町第1ビル
電話：03-5816-7141 FAX：03-5816-7140 e-mail：info@barcode.ne.jp



安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。








 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



記号の意味：

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。

⊘記号は、禁止（してはいけないこと）であることを示しています。

Ⓜ記号は、必ずして欲しい内容を示しています。

 警告	
重要：システム設計者へ ◆ 薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。	
◆ 次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。 ➢ 煙がでている場合、変なにおいや音がしている場合 ➢ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合 ➢ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合	
◆ 製品を分解したり、改造したりしないでください。 事故や故障の原因になります。	
◆ 湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。 感電の原因となることがあります。	

 注意	
次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。 ◆ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いもの下敷きにならないようにしてください。 ◆ スキャナ本体をたたいたり落としたりして衝撃を与えないでください。 ◆ 不安定な場所に置かないでください。 ◆ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。	

セットアップ

(1) ドライバのインストール

FFTA12U を初めて PC に接続する際、「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」ドライバのインストールが必要になります。ここでは、Windows98SE での画面を用いて、インストール手順を説明します。他の OS でも、ダイアログ表示が多少異なりますが、ほぼ同じ手順です。

OS によっては、自動でインストールが進む場合もあります。

- a) PC に電源を投入し、Windows を起動します。
- b) スキャナの USB コネクタを、PC の USB ポートに接続します。

※USB ハブは使用せず、スキャナを直接 PC に接続してください。 USB ハブ経由でもほとんどの場合は使用できますが、環境によっては、スキャナの動作が不安定になったり、動作しなかったりする場合があります。弊社では、USB ハブの使用はサポート外とさせていただいておりますのでご了承ください。

- c) スキャナのブザーが鳴ります。

※ブザー音がまったく鳴らなかった場合は、一旦 PC の電源を切り、ケーブルの接続を確認してやり直してください。それでも状況が改善されない場合は、表紙に記載の弊社担当窓口までご連絡ください。

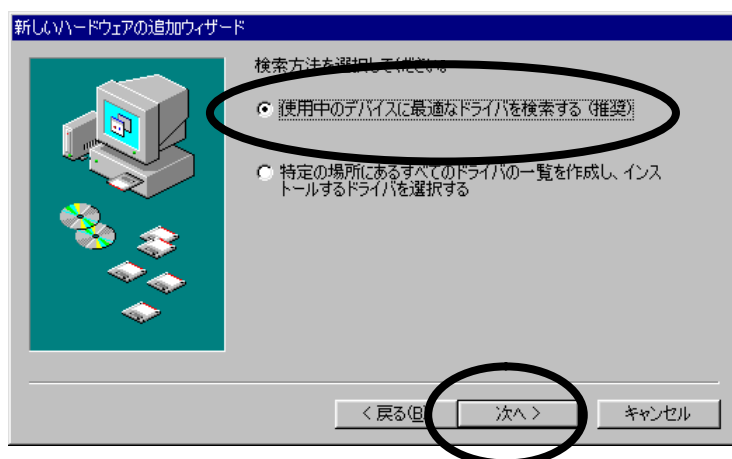
- d) PC のディスプレイ画面に「新しいハードウェア」のダイアログが数秒間表示された後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」のダイアログが表示されます。

※OS によっては自動でインストールが進む場合もあり、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合もあります。その場合は、手順 j) に進み「デバイス マネージャ」を確認してください。

- e) 「次へ」 ボタンをクリックします。

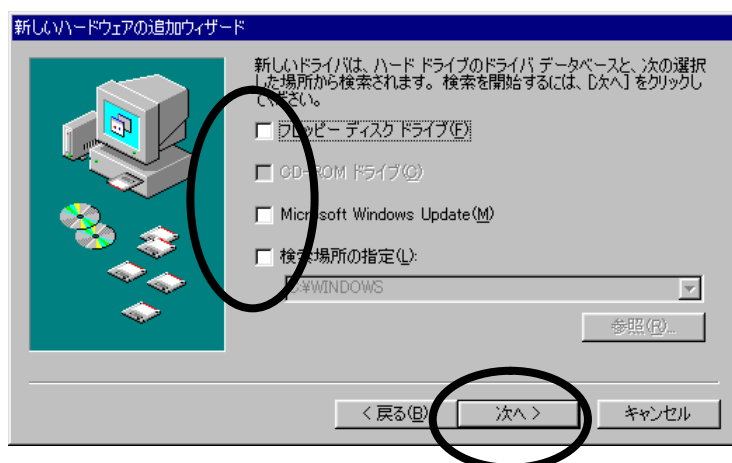


f) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

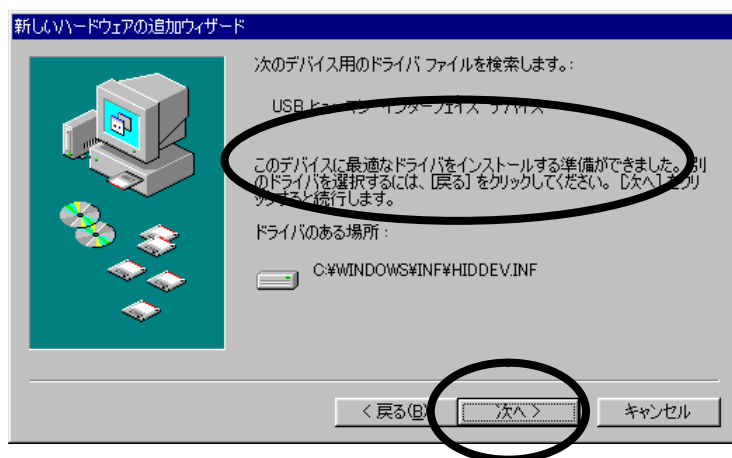


g) チェックマークは付けずに、「次へ」ボタンをクリックします。

このとき、Windows オペレーティングシステムの CD-ROM を要求される場合があります。その場合は画面の指示に従ってください。



h) 「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました。」と表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。



- i) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。これでインストールは完了です。

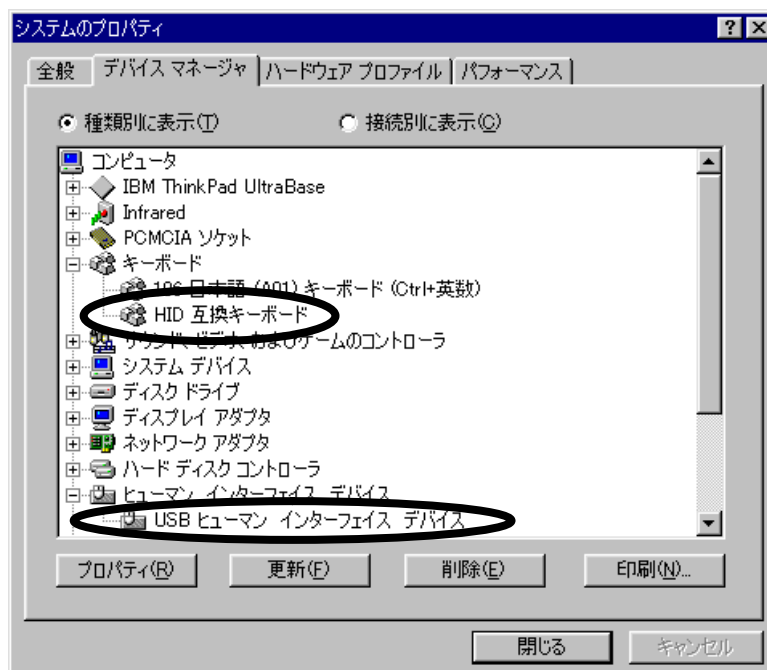


なお、このインストール手順の c ~ i は、2回繰り返される場合があります。

- j) 「デバイス マネージャ」に、次のように表示されているか確認します。

- ・「キーボード」に「HID 互換キーボード」（または「HID キーボード デバイス」など同様の表示)
- ・「ヒューマン インターフェイス デバイス」に「USB ヒューマン インターフェイス デバイス」（または同様の表示)

※これらの表示は、スキャナを接続している間だけ表示されます。



(2) 読取テスト

文字入力できるアプリケーション（メモ帳など）を起動して、次のテストバーコードを読み取ります。



カーソルの位置に「12345」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。
この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

※手順 1 の j で「デバイス マネージャ」に必要な項目が表示されているにもかかわらずスキャナが動作しない、または動作はするが読み取ったデータが表示されない場合は、スキャナのケーブルを PC から一旦抜いて、再度差し込んでください。

設定手順

- (1) 「開始」バーコードを読み取ります。ブザーが「ピーッ、ピッ」と 2 回鳴り、設定モードに入ったことを知らせます。
- (2) 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ります。ブザーが「ピッ」と 1 回鳴り、設定バーコードを読み取ったことを知らせます。
- (3) パラメータによっては、16 進で数値を指定します。その場合は、16 進設定バーコードを読み取った後、「決定」バーコードを読み取ります。
- (4) 必要な設定が終わったら、「終了」バーコードを読み取ります。ブザーが「ピーッ、ピピッ」と 3 回鳴り、設定が終了したことを知らせます。
- (5) 複数のパラメータを変更する場合は、1～4 を同様に繰り返します。

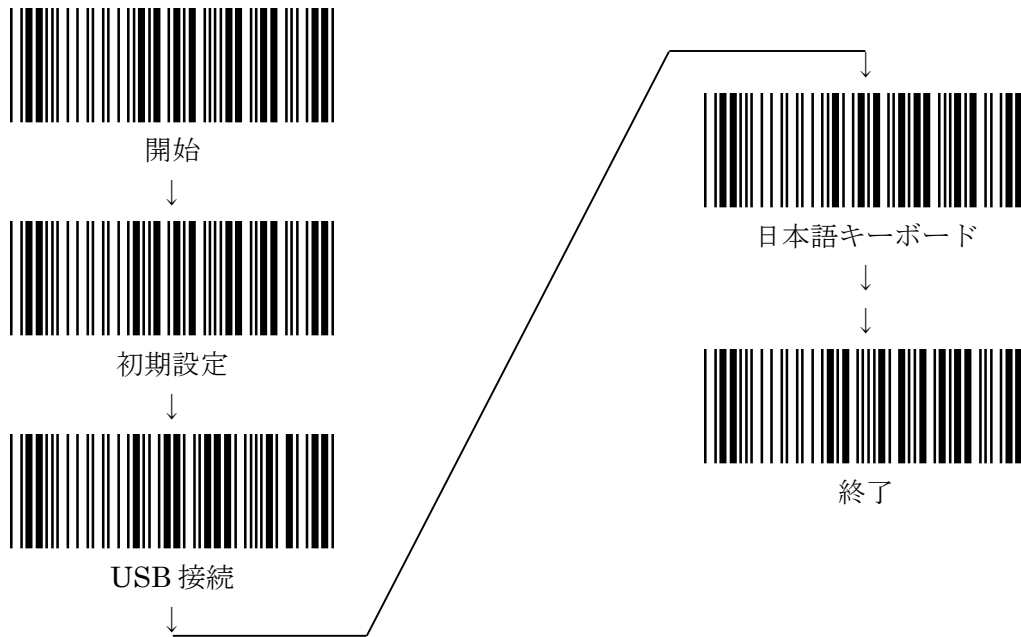
※ 設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度『出荷時設定』に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。

※ 16 進設定など、複数のバーコードを読み取って設定するパラメータについては、設定の途中で「終了」バーコードを読み取ると設定変更は破棄されます。16 進設定バーコードを読み取った後に「決定」バーコードを読み取らずに「終了」バーコードを読み取ると、設定変更されませんのでお気をつけください。

出荷時設定

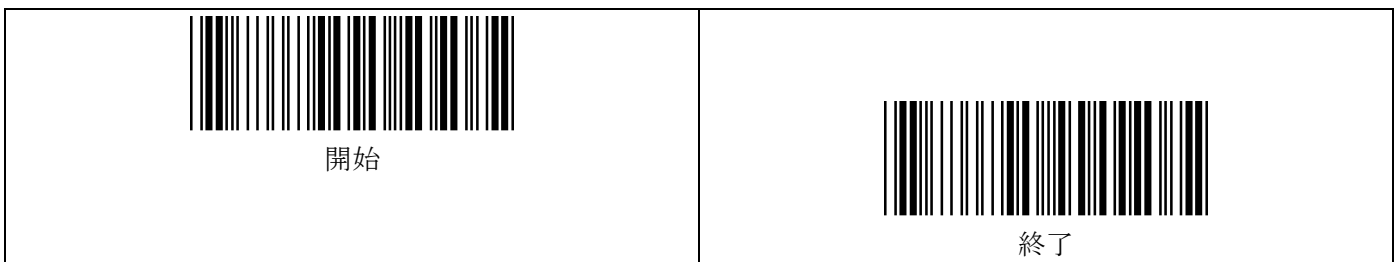
FFTA12U を出荷時設定に戻すには、次の 5 つの設定バーコードを左上から順に取り扱います。

※ 出荷時に下記設定をしてありますので、通常はそのままお使いいただけます。



※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、上記出荷時設定を行なったときに設定される項目です。

以降の設定は、開始→設定バーコード→終了の順に取り扱います。



ターミネータ（終端文字）の設定

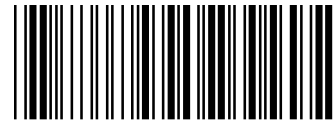


キーボードインタフェースの各種設定

キーボード種類（国別）設定



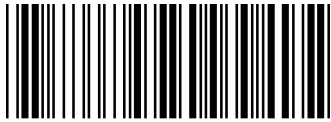
106（日本語）キーボード



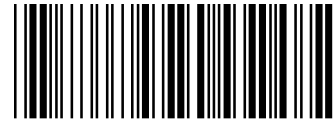
101（英語）キーボード

Caps Lock の設定

『ON』に設定すると、バーコードデータのアルファベットの大文字を小文字に、小文字を大文字に変換します。PC の Caps Lock が ON になっていて、データの大文字と小文字とが逆になってしまう場合に有効です。



OFF



ON

読取バーコードシンボル体系について

下記バーコードシンボル体系は、初期設定で読取許可に設定されています。

- ・ JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E
- ・ コード 39（フル ASCII を除く）
- ・ コーダバー（NW7）
- ・ コード 93
- ・ コード 128（GS1-128 を除く）

下記バーコードシンボル体系は、初期設定では読取禁止になっていますが、設定を変更することで読取可能になります。弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷して設定してください。

- ・ コード 39 フル ASCII
- ・ GS1-128（EAN.UCC-128）
- ・ インタリーブド 2 オブ 5（ITF）
- ・ インダストリアル 2 オブ 5
- ・ マトリクス 2 オブ 5
- ・ MSI/Plessey
- ・ コード 11

※ その他の詳細設定については、弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷してご利用ください。

<http://www.barcode.ne.jp/download/408.html#FFTA12>